

# RSウイルス母子免疫ワクチンが定期接種(無料)になります

(問い合わせ) 子育て支援係 ☎0967(67)2715



お知らせ

令和8年4月から、妊婦を対象として、RSウイルス感染症予防接種が予防接種法に基づく定期接種の対象となりました。妊婦がワクチン接種することで、母体で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた赤ちゃんがRSウイルス感染症に対する予防効果を得ることが期待されています。

## ●RSウイルス感染症とは

RSウイルスは急性の呼吸器感染症で、年齢を問わず何度も感染を繰り返しますが、初回感染時にはより重症化しやすいといわれており、特に生後6カ月以内に感染した場合には細気管支炎や肺炎など重症化することがあります。生後1歳までに50%以上が、2歳までにほぼ100%の乳幼児が少なくとも一度は感染するといわれています。

## ●症状

潜伏期は2〜8日とされ、発熱、鼻汁、咳などの上気道炎症状が数日続き、その後場合によっては気管支炎や肺炎などの下気道症状が出ます。

初めて感染した乳幼児の約7割は軽症で数日のうちに軽快しますが、約3割は咳が悪化し、喘鳴(ゼーゼーと呼吸しにくくなること)や呼吸困難、さらに気管支炎の症状が増加します。重篤な合併症として注意するものには、1歳以下では中耳炎の合併症がよくみられる他、無呼吸発作、急性脳症などがあります。

## ●RSウイルスワクチンについて

RSワクチンとは、妊婦がワクチンを接種することで母体で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた赤ちゃんが出生時から感染症に対する予防効果を得ることができるワクチンです。このワクチンにより、生後間もない赤ちゃんのRSウイルス感染症による重症化を防ぐ効果が期待されています。

## ●ワクチンの接種について

**対象者**  
接種日時時点で村に住民票がある妊娠28週0日から36週6日までの妊婦  
**接種回数**  
妊娠ごとに1回(筋肉内接種)

## ●ワクチンの種類

ファイザー社(商品名:アブリスポ)不活化ワクチン  
※定期接種として無料で接種できるのは、妊婦に接種する母子免疫ワクチンのみです。

## ●接種費用

無料

## ●注意事項

- 令和8年3月31日以前に接種した場合は定期接種の対象となりませんのでご注意ください。
- 里帰りなど指定医療機関以外で接種した場合、自己負担が生じる場合があります。接種前にごも未来課までご相談ください。
- 接種後14日以内の出生は有効性が確認されていないため、ご注意ください。

## ●接種場所

阿蘇郡市内では以下の医療機関で接種できますので、事前に予約をお願いします。場合によっては掲載以外の医療機関でも接種可能な場合がありますので、医療機関に直接お問い合わせください。阿蘇郡市外の医療機関については村ホームページをご確認ください。

## ●ワクチンの効果や安全性

かかりつけの産婦人科や予防接種医療機関などの医師と相談し、よく理解したうえで接種を検討してください。ワクチンの効果や安全性について詳しくは厚生労働省ホームページをご確認ください。



厚生労働省HP



村HP

## ●接種機関一覧

医療機関名	住所	電話番号
阿蘇温泉病院	阿蘇市内牧 1153-1	0967(32)0881
市原胃腸科外科	阿蘇市黒川 1484	0967(34)1211
小国公立病院	小国町宮原 1743	0967(46)3111
良見内科医院	高森町高森 1613-5	0967(62)0646